

## 二十二 全国大会

昭和六年二月、福岡商業を会場として、第一回九州男子中等学校中根式速記競技大会を開いたのです。

郷里長崎の長崎商業、それに福岡県の久留米商業からそれぞれ三名ずつ、旅費を送って選手を呼び集めたのです。競技会を開いてみると、選手たちが真剣になって競技するので、ここで初めて学生たちに奨励す

るためには、競技会を開くに限るということがわかり、すぐこの年の末、十二月に東京で第一回全国男子中等学校中根式速記競技大会を開くことにしたのでした。参加する学校では選手を派遣する予算などはもちろんできていないし、往復旅費を出して呼び集めたのでした。往復旅費だけを送ったのですが、広島から参加した選手が「汽車の中でライスカレーを食べたのでそのお金を下さい」といったのを覚えています。

集まった選手は全国から十八名でした。私がわずか十八名の選手を集めて、全国大会と銘打ってやるものですから、速記の専門家方面では笑っていたそうです。二年も三年もかかってやっと速記ができるよ

